



校区全体で応援

校長 長井 佐智夫



もうすぐ12月とは思えないほどの陽気が続きましたが、明日からはいよいよ冬到来を感じさせる寒さとなりそうです。今年のカレンダーも最後の1枚となりました。あと1ヶ月、さらにあかしっ子の力を伸ばすべく2学期のまとめに取り組んでまいります。

今月、あかしっ子たちの先輩である錦城中学校2年生6名が本校で社会体験活動(トライやる・ウィーク)を行いました。1年やひまわり学級での活動や学習園整備、消毒液台製作などに取り組みました。そのなかで、“子どもたちの成長していく姿を見ることができ、元気をもらえるとという2つが大きく先生という仕事のやりがいだと思った” “怖がられないように笑顔を心がけたり、お話を聞くときに視線を合わせられるように少しかがんだりすると、「お姉ちゃん聞いて」とたくさん話しかけてくれるようになった” “仕事は思っていたより大変だったので、経験はやはり大切だと思った” “時間の大切さ、コミュニケーションの大切さを感じ取った”などの大きな学びがあったようです。1年半前に巣立っていったあかしっ子が、このような考え方、感じ方ができるほど成長されていることが頼もしいですし、きっとこの体験を今後に生かしていかれると強く思いました。これからも校区全体で応援しています。



◇ 担当の交代について ◇



んけん参観 12月2日(金)

以下の点にご協力をお願いいたします。

- 1家庭1名による地区別(2・3校時)参観
- 来校証の着用
- マスクの着用と健康チェック票の提出

学校HPについて

関係機器の故障により、明石小ホームページが、今月17日以来更新ができない状況が続いています。

修理が終わり次第、再スタートしてまいりますので、今しばらくお待ちください。

下校時のお願い

明石小南側道路が雨水管布設工事のため、3月までの予定で工事作業があり、子どもたちの安全を確保しながら下校をさせている状況です。

また、同時に放課後にお迎えのお車が停車されることにより道路が混雑し、近隣の皆様に大変ご迷惑をおかけしています。くれぐれも学校南側道路でのお迎えのための停車は、ご遠慮くださいますようお願いいたします。

福祉体験を終えて

手話のことは少しだけわかるようになりました。その手話を使って、耳の聞こえない人と話ができるようになりたいです。今の僕では無理なので、手話をたくさん覚えたいです。



車いすに乗ると不便なところがたくさんありました。不便だけでなく、「こわい」と感じそうなところや、車いすが通るには危ない道もありました。車いすを押す人が十分注意をして押すことが、とても大事な役割を果たしていると分かりました。

視覚障がい当事者の方の話をきいて、目が見えなかったら自分が思っている以上に不便だと思ったので、これからはずっと目を大切にしていきたいです。



車いすは押している人も大変なんだと思いました。視覚障がい当事者の方の講話では、目が見えない人は、見た目だけではわかりにくいので、周りから分かるように工夫しているんだなと思いました。

車いすはスロープがあれば楽に押せると思っていたけど、スロープがあっても押すのが少し大変でした、また、視覚障がい当事者の方の講話をきいて、目をこれからも大切にしてお過ごしていきたいなと思いました。

点字は障がい者の方達にとって大切なものだと思います。もしわたしが点字を作る人になったら、いっぱい点字を作って、障がいしゃの方達をもっと安心させてあげたいです。

手話はできない人が多いけど、手話ができるようになった人が増えると、耳が聞こえない人が助かるよりよい社会の実現ができると思います。